

令和2年加美町議会第2回臨時会会議録第1号

令和2年3月30日（月曜日）

出席議員（16名）

2番	猪股俊一君	3番	早坂伊佐雄君
4番	早坂忠幸君	6番	高橋聡輔君
7番	三浦又英君	8番	伊藤由子君
9番	三浦英典君	10番	沼田雄哉君
11番	一條寛君	12番	伊藤淳君
13番	伊藤信行君	14番	佐藤善一君
15番	下山孝雄君	16番	米木正二君
17番	木村哲夫君	18番	工藤清悦君

欠席議員（2名）

1番	味上庄一郎君	5番	三浦進君
----	--------	----	------

欠員（なし）

説明のため出席した者

町長	猪股洋文君
副町長	高橋洋君
総務課長・選挙 管理委員会書記長	佐藤敬君
会計管理者兼会計課長	佐藤和枝君
危機管理室長	塩田雅史君
企画財政課長	熊谷和寿君
ひと・しごと推進課長	相澤栄悦君
町民課長	荒木澄子君
税務課長	浅野仁君
農林課長補佐	尾形一浩君
商工観光課長	岩崎行輝君

建設課長	長田裕之君
保健福祉課長	内海悟君
子育て支援室長	佐藤法子君
上下水道課長	大場利之君
小野田支所長	岡崎秀俊君
宮崎支所長	猪股繁君
総務課参事兼課長補佐	遠藤伸一君
教育長	早坂家一君
教育総務課長	二瓶栄悦君
生涯学習課長 兼スポーツ推進室長	上野一典君
農業委員会事務局長	太田浩二君
代表監査委員	小山元子君

事務局職員出席者

事務局長	武田守義君
参事兼次長	内海茂君
主幹兼総務係長	内出由紀子君
主幹兼議事調査係長	後藤崇史君

議事日程

- 第 1 会議録署名議員の指名
 - 第 2 会期の決定
 - 第 3 報告第 3 号 専決処分した事件の報告について（令和元年度加美町
中新田B&G海洋センター多機能化改修工事請負変更
契約の締結について）
 - 第 4 議案第 3 5 号 令和元年度加美町一般会計補正予算（第 8 号）
-

本日の会議に付した事件

日程第 1 から日程第 4 まで

午前10時01分 開会・開議

○議長（工藤清悦君） 皆さん、おはようございます。

本日は大変ご苦労さまでございます。

ただいまの出席議員は16名であります。1番味上庄一郎君、5番三浦進君より欠席届が出ております。

定足数に達しておりますので、これより令和2年加美町議会第2回臨時会を開会いたします。直ちに本日の会議を開きます。

ここで町長より発言の申し出がありますので、これを許可いたします。町長。

〔町長 猪股洋文君 登壇〕

○町長（猪股洋文君） 皆さん、おはようございます。よろしく申し上げます。

令和2年加美町議会第2回臨時会、よろしく願いいたします。

ただいま議長から許可をいただきましたので、新型コロナウイルス感染症にかかる町の対応について、3月定例会最終日にご報告させていただきましたが、その後の経過等についてご報告をさせていただきます。

政府の外出自粛や全国一斉休暇の要請から1カ月がたちました。この間、それぞれが対応に苦慮し、ご苦労されていることと思います。子どもたちは学校に行けず、多くの時間を自宅で過ごさざるを得なくなりました。また、卒業を控えた子どもたちはクラスメイトと過ごす最後の時間が突然奪われてしまいました。このような中、挙行された卒業式は保護者出席のもと心温まるすばらしい式でした。ご指導くださいました先生方はじめご理解いただいた保護者の皆様方や関係者の方々に感謝を申し上げたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症に係るこれまでの取り組みですが、町としましては情報収集しながらさまざまな対応をまいりました。また、今も行っているところでございます。マスクにつきましては、以前にもご報告させていただきましたが、いの一番に妊婦さんと中学3年生に支給いたしました。その後要望を受け、介護施設と障害者施設、身体障害者手帳保持者で呼吸器障害と腎臓障害を患っている町民の皆様にも配付しております。

また、子どもたちの居場所を確保するため、放課後児童クラブ等において登録以外の子どもたちも事情を考慮し受け入れてまいりました。学校の春休み期間中の対応については、感染予防策を講じた上で小学校の校庭、体育館、図書館について時間帯を設けて開放しております。中学校の部活動も時間を短縮し、必要な対応をとり、再開しております。入学式は規模縮小等の対応を行い、実施することとしております。また、文部科学省から出されました学校再開ガ

イドラインに基づき、授業についても再開することとしております。

例年4月に実施しておりました総合健診については感染防止の観点から大腸がん検診を除き延期することいたしました。

また、初午まつりについては、実行委員会において中止が決定されたと報告を受けておりません。

東京2020オリンピック・パラリンピックも1年程度の延期となりました。チリ共和国の事前合宿についても今後チリ側と協議しながら対応してまいります。

今最も大切なことは、本町から感染者を出さないことです。特に、不特定多数が集まる密閉、密集、密接の場所を避けることが重要です。地域での集まりの際には十分喚起し、少し距離を置いて座る工夫も必要です。免疫力を高め、感染予防に努めながら徐々に日常生活を取り戻していくことが大切になります。これらの取り組み、対応については、4月号の広報紙に掲載し、町民の皆様にお知らせをいたします。

県内の感染者は現在クルーズ船乗船者の1名のほか、26日に1名、そして昨日新たに2名の感染者が確認されており、全国的にも増加傾向となっている状況です。また、先週、村井県知事より東京、関東方面に行くのは控えてほしいとの呼びかけがありました。感染が拡大している地域への不要不急の外出は当分自粛するようお願いいたします。

今後も、感染拡大の状況を注視しつつ、状況に応じて国・県の対応を踏まえ、必要な対策を講じてまいりたいと考えております。

役場庁舎入り口に刷新聖人と書かれた大きな石碑が建っています。大正14年に発疹チフスが蔓延する中、身を挺して治療にあたり、みずからも感染し亡くなられた中新田町の町医新妻恂滋、哲夫親子の功績をたたえたものです。先人たちは命がけで感染症と戦い、町民の命を守ってくれました。私たちも必ずやこの苦境を乗り越え、持続可能な魅力ある加美町を次世代に引き継いでいけると信じており、町民一人一人の自覚と支え合いの精神が今こそ求められています。議員各位におかれましても、どうかご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、報告といたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（工藤清悦君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、2番猪股俊一君、3番早坂伊佐雄君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（工藤清悦君） 日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期については、本日1日間にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤清悦君） ご異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日1日間に決定いたしました。

日程第3 報告第3号 専決処分した事件の報告について（令和元年度加美町中新田B & G海洋センター多機能化改修工事請負変更契約の締結について）

○議長（工藤清悦君） 日程第3、報告第3号専決処分した事件の報告について（令和元年度加美町中新田B & G海洋センター多機能化改修工事請負変更契約の締結について）、報告を求めます。町長。

○町長（猪股洋文君） 報告第3号専決処分した事件の報告について（令和元年度加美町中新田B & G海洋センター多機能化改修工事請負変更契約の締結について）ご説明申し上げます。

本案件は、令和元年加美町議会第3回定例会においてご承認いただきました令和元年度加美町中新田B & G海洋センター多機能化改修工事について、工事請負契約に変更が生じたことから、地方自治法第180条第1項の規定により令和2年3月16日付で工事請負変更契約締結の専決処分を行ったものであります。議会の議決を経た工事請負契約については、変更金額が契約金額の10%以内で、その金額が1,000万円以下の場合は町長の専決事項とされておりますので、同条第2項の規定により報告するものです。

変更契約の主な内容としては、1つ目としてB & G財団からの要望により既存館銘板の名称の変更及び外部サインの追加取り付け並びにB & G財団支給の看板設置を追加したことによるものです。

2つ目に、アスファルト舗装復旧について、現況舗装面との傾斜を調整するため施工範囲を追加したことによるものです。

3つ目に、建築確認申請時に消防署からの指導により非常警報装置を追加して設置したことによるものです。

これらの変更により、変更前契約額8,195万円に517万5,500円を追加し、8,712万5,500円に変更したものです。

なお、本工事につきましては令和2年3月23日に竣工検査を実施し、引き渡しも完了しているところです。

以上、ご報告いたします。

○議長（工藤清悦君） 報告が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。8番伊藤由子さん。

○8番（伊藤由子君） 今の件についてお伺いします。

コロナ対策については詳しく説明ありましたが、ちょっと気になっている外国人……。

○議長（工藤清悦君） すみません、B&Gのことについて。

○8番（伊藤由子君） では、いいです。

○議長（工藤清悦君） 12番伊藤 淳君。

○12番（伊藤 淳君） 再度説明お願いしたいんですが、当初この契約する際の額が決まった後に、今町長の説明によってその看板をつけてほしいの、あと消防からのどうのということは、当初のこの契約の時点では想定できなかったことなんですか。

それとその後起きたことで500万円からのお金が出資することになったんですが、そのお金は今度どこからどういう形で出るのか、その2つについて説明をお願いします。

○議長（工藤清悦君） スポーツ推進室長。

○生涯学習課長兼スポーツ推進室長（上野一典君） スポーツ推進室長でございます。

まずもって、何でもこういう追加が発生したかということですが、まずもって財団とか、あと中新田高校、中新田中学校等々の要望もあります。あとは、アスファルトに関しては勾配が調整しなくちゃいけないという理由で一応そういう追加がありました。

当初から計画したより調整しなくちゃいけないものが発生したためでございますので、どうぞ理解のほどよろしくお願いたします。

○議長（工藤清悦君） 企画財政課長。

○企画財政課長（熊谷和寿君） 企画財政課長でございます。

今回、補正等々やってございませぬので、既存の財源で組み替え等で処理したものだと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○議長（工藤清悦君） 12番伊藤 淳君。

○12番（伊藤 淳君） 既存の財源というのは、何というか、この事業はもともとB&Gからあ

る程度の額でもってどうぞやってくださいというようなそういうふうな事業だったふうに記憶しているんですけども、差額というか、当初の計画よりもオーバーした部分も含めてB&Gが出していただける事業なふうに私は理解しておったんですが、なくなったと、足りないからと言ってその都度その都度こういう形というのは、ちょっと当初にその契約をする際の甘さがあったんではないかということを感じるんですが、いかがなものですか。また今度何してくれ、かにしてくれってB&Gからきたら、はあ、そうですそうですって、全部それ対応するわけですか。

○議長（工藤清悦君） スポーツ推進室長。

○生涯学習課長兼スポーツ推進室長（上野一典君） スポーツ推進室長でございます。

申しわけございません。この予算に関しましては、当初予算は九千何百万置いておりました。その残額で処理ということになります。ただ、財団に関しましては、その事業費に対しての3,000万円の助成ということで上限が3,000万円になりますので、3,000万円助成に関しては変更なくそのまま交付されるということになります。

以上です。

○議長（工藤清悦君） 町長。

○町長（猪股洋文君） この財源内訳は、そもそもB&Gからの3,000万円、それから地方創生拠点整備交付金から3,500万円、残りについては起債を充てております、合併特例債ですね、これが財源になっております。予算の範囲内で工事を発注しまして、当然不用額が出るわけがありますから、その部分を今回の500万円に充てると。ですから、当初の予算の範囲内でこの500万円の追加工事も含めて施されるというふうなことでございます。特に、これについてプラスで財団から交付金何とかということではございませんので、ご理解いただきたいと思っております。

○議長（工藤清悦君） 12番伊藤 淳君。

○12番（伊藤 淳君） とにかくこの事業をやって、今回その517万5,500円、これは要するにさっき財政課長も言ったとおり既存の持っている金から出るよみたいな話だったけれども、それはどこから。一般財源ですか、結局は。

それで、結局私が言いたいのはね、補正であろうが何であろうが、緊縮財政だ何だかんだと言いながらね、こうやって出たのをぼこぼこ出すというのは、いかに単年度主義であって何だりかんだりで繰越明許だほら何だかんだいろいろあるけれども、出るのは全部税金なんですよ。そういうところできちんと押さえていかないと、将来にわたって大変だ大変だって執行部

も言っているのに、こいなことをやはりきちんとチェックする目を持ってやっていくことが必要ではないかということでお話ししているのので、この事業に対して悪いとかいいとか言ってる話じゃない。必要であれば当然やらなきゃないし、そういう目でご対応をなさってはいかがかというお話なんです。そういうことです。

○議長（工藤清悦君） 企画財政課長。

○企画財政課長（熊谷和寿君） 企画財政課長でございます。

今の伊藤議員さんからのご指摘ごもっともかと思っておりますが、今回の補正に関しましてはB&G等々の指示といたしますか、そういったこともありまして、必要に応じてやったものと理解しているわけでございます。

それから、財源につきましては先ほど町長からお話ありましたように、この事業につきましては地方創生の拠点整備交付金を充ててございまして、それからB&Gの補助金で足りない部分につきましては合併特例債を当初から計上してございました。

入札に当たりまして若干差金があったと思っております。今回はその差金を活用しまして変更増を行ったものということで、ご理解をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（工藤清悦君） その他質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これで報告第3号専決処分した事件の報告について（令和元年度加美町中新田B&G海洋センター多機能化改修工事請負変更契約の締結について）を終了いたします。

日程第4 議案第35号 令和元年度加美町一般会計補正予算（第8号）

○議長（工藤清悦君） 日程第4、議案第35号令和元年度加美町一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

本件について、提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（猪股洋文君） 議案第35号令和元年度加美町一般会計補正予算（第8号）についてご説明申し上げます。

今回、既定予算から歳入歳出それぞれ621万5,000円を減額し、歳入歳出それぞれ139億1,041万5,000円とする補正予算と、繰越明許費の追加1件及び変更1件のほか、地方債1件の変更を行うものであります。

歳入の主なものについては、地方消費税交付金として4,116万4,000円減、地方交付税として

特別交付税6,966万円増、国庫支出金としてプレミアム付商品券事業費補助金2,134万3,000円減、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金3,331万6,000円減、町費として学校構内ネットワーク整備事業債3,150万円増などのほか、新型コロナウイルス感染症対策事業に関する国・県支出金として児童福祉費国庫補助金で297万6,000円、社会福祉費県補助金で64万4,000円を追加するものであります。

歳出の主なものについては、民生費でプレミアム付商品券事業委託料2,316万6,000円減、衛生費で大崎地域広域行政事務組合負担金830万6,000円増などのほか、新型コロナウイルス感染症対策として、民生費において学校休業時の児童館開設に係る非常勤職員報酬を追加するほか、私立認定こども園に係る保育対策総合支援事業費補助金を追加し、予備費を減額するものであります。

よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（工藤清悦君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。3番早坂伊佐雄君。

○3番（早坂伊佐雄君） 早坂でございます。

学校校内ネットワーク整備事業についてお伺いいたします。これは国のほうから補助金の減額も当初からあり得るといふような連絡はあったのかどうか、まず1点についてお伺いします。

○議長（工藤清悦君） 教育総務課長。

○教育総務課長（二瓶栄悦君） おはようございます。教育総務課長でございます。

校内ネットワーク整備でございますけれども、ご質問のように当初は国の考えとしましては、児童生徒が1人1台端末を活用できるよう、普通教室をはじめとした理科室等の特別教室においても自治体の判断で設置した場合は補助対象にしますという内容でございました。そういったことから本町におきましても普通教室や理科室あるいは多目的教室と呼ばれるところにも無線のアクセスポイントを設置をするということで要望したところでございますが、いざ補助申請をしたところ、内示額としては国のほうからは普通教室のみ対象とするということで、大幅な補助金の減額というものになってございます。文科省としましては、当初は普通教室のみを対象とするということは一切ございませんでした。

以上でございます。

○議長（工藤清悦君） 3番早坂伊佐雄君。

○3番（早坂伊佐雄君） 過日の大崎タイムスの記事の中でも県内の近隣の市町村の中でも、減額の幅が結構差異があったというふうに思っていますけれども、その辺もし、他町村のことで

すけれども、その差異があったというのは先ほどの特別教室云々だとか、ある程度承知している部分があればお聞かせいただきたいと思います。

○議長（工藤清悦君） 教育総務課長。

○教育総務課長（二瓶栄悦君） 教育総務課長でございます。

ご指摘のように一部新聞等で報道されてございますが、全国的にでございますけれども、文科省からの回答では教室はもちろんのことでございますけれども、機器が過剰な性能になっているようなこともご指摘がされているようでございます。本町につきましては、機器類については国の標準単価と比較しましてほぼ全機種が下回っているということで、本町については過剰な設備等というものはないというふうに認識してございます。

それから、先ほども申し上げましたように、各自治体、アクセスポイントの設置する考えというのはばらばらでございまして、聞くところによると大崎市は普通教室のみに限定していたという様子でございますし、自治体によっては体育館までアクセスポイントを設置するというようなところもあるようでございましたので、各自治体それぞれアクセスポイント、校内LAN整備の考え方、手法が違うということでこういった結果になったのかなというふうには思っております。

以上でございます。

○議長（工藤清悦君） 3番早坂伊佐雄君。

○3番（早坂伊佐雄君） 最初の質問の中で、国のほうから特に減額云々とか普通教室だとかその辺についての定めはなかったということで、実際これくらいの補助対象があつて、経済対策で令和元年度の駆け込みで補正でということだったわけですので、そこで差異が当然生じてきているのが現実ですので、それを例えば町村会だとか何とかで特別交付税のほうでというふうなことで国のほうなり県を介してなりですね、そういうふうなお考えというのは町長はないですか。

○議長（工藤清悦君） 町長。

○町長（猪股洋文君） 国が経済対策として、ある意味で一方向的にこれは各自治体のほうに整備をするよというふうな要請があつたわけでございますし、この環境整備の後にですね、今度は1人1台整備というものが、この5年くらいの間には整備しなさいというふうに国が言っておりますので、そのことも含めてやはりしっかりと国が約束どおり町に対して補助金を交付していただかなければ、財政状況に厳しい自治体はこれは整備ができなくなると私は思っています。その教育格差が生じる可能性がありますので、やはりこういったところは国が1人1台と

いう方針を示している中で、しっかりとこれは財政的な措置を国にさせていただかなければならないと思っておりますので、町村会等々でも国に対して強力にこれは要請をしまいたいというふうに思っております。ありがとうございます。

○議長（工藤清悦君） その他質疑ございませんか。14番佐藤善一君。

○14番（佐藤善一君） 民生費と教育費の中で、国・県の支出金が大分削減されているわけですが、これから安定的な財政運営を行う上からもこういった既存財源の確保、大変重要かと思えます。

そこで、この削減された理由なんですけれども、これまでこの財源を確保するためにいろいろと国や県の折衝があったかと思いますが、どんな手順を踏んで当初予算が確定されたものかお伺いをいたします。

○議長（工藤清悦君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（内海 悟君） 保健福祉課長でございます。

民生費の部分につきまして、国の補助金、それに伴いまして支出のほうで二千数百万円ほど減額となっております。これにつきましては、プレミアム付商品券に関する事業に基づくものでございます。当初、プレミアム付商品券については所得の低い方が5,000人、あと子育て世代で400人ということで5,400人を想定しまして予算を組んでおります。

このプレミアム付商品券につきましては、2万円を出すと2万5,000円分の商品券が買えるという事業でございます。実際に所得制限等がございましたので、その辺のことで絞り込みを行いまして、実際の対象者につきましては4,168人ほどとなっております。その方々にこの申請をどうぞしてくださいというようなことで通知を出したわけですが、実際に申請された方というのが1,193人ということで、実際20%くらいしか申請されてなかったんですね。その原因としましては、やはり最初に2万円手出しして2万5,000円分の商品券を買うというその辺のことがネックだったのではないかと思われるんですけれども、そういったことで当初想定したものよりも20%ということで非常に申請が低かったということで、それに伴いまして歳入歳出両方とも削減ということになったものでございます。

以上でございます。

○議長（工藤清悦君） 14番佐藤善一君。

○14番（佐藤善一君） 1月下旬当たり、国会が開幕される大体同じ時期に総務省主催による国県担当者各市町村の会議、ヒアリングが行われているかと思いますが、そこでこの詳細に決定事項については説明があり、留意事項についても示されているかと思いますが、その辺はどう

いった指示があったのかお伺いたします。

○議長（工藤清悦君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（内海 悟君） 保健福祉課長でございます。

このプレミアム付商品券の事業につきましては、これは実績に基づいて国のほうから補助金
が来るということでございますので、今回実績に基づいて先ほどお話ししましたとおり利用さ
れた方が少なかったという、それに基づきまして不用といたしますか実際の歳入歳出、ほぼ同じ
額が減額になったということでございます。

以上でございます。

○議長（工藤清悦君） 14番佐藤善一君。

○14番（佐藤善一君） 国の補正予算事業ですね、これが当初予算より有利になるときもありま
すので、そういったためにも準備しておいたほうがよろしいかと思えます。

○議長（工藤清悦君） 要望でよろしいですか。はい。

その他質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終
結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めます。
これにて討論を終結いたします。

これより議案第35号令和元年度加美町一般会計補正予算（第8号）の採決を行います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤清悦君） ご異議なしと認めます。よって、議案第35号令和元年度加美町一般会計
補正予算（第8号）は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本臨時会に付議された案件の審議は全て議了いたしました。

これで令和2年加美町議会第2回臨時会を閉会といたします。

大変ご苦労さまでございました。

午前10時35分 閉会

上記会議の経過は、事務局長武田守義が調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年3月30日

加美町議会議長 工藤清悦

署名議員 猪股俊一

署名議員 早坂伊佐雄